

読んだ本(奥本 大三郎/文 やました こうへい/絵) ポプラ社

## 『フアーブル先生の昆虫教室 本能のかしこさとおろかさ』

川崎市立子母口小学校三年

ねもと 根本 ゆうと 勇杜

ぼくは「フアーブル先生のこん虫教室」という本のタイトルを見て、フアーブル先生とはどんな人だろうと思い、この本を手にとりました。読み進めていくうちに、こん虫のことが書いてある本ということが分かりました。

その中でぼくが一番いんしょうにのこったのはスカラベのけんきゆうです。みんながよく知っているフンコロガシのことです。ぼくはさいしょ、名前の通りふんをとって転がして丸くしていくのだと思っていました。ところがじっさいには、はじめから頭のへりのぎざぎざで玉の形になるようにふんの山から丸く切り出していたのです。そのふんを約十二時間かけて食べることにおどろきました。

ほかにもたくさんのこん虫のことが書いてあります。フアーブル先生は長い年月をかけて調べたことがよく分かります。ぼくもいつか自分がむ中になれることを見つけて、それに向かつて一生けん命調べたり、行動にうつしたりしたいです。そのために今ぼくが出来ることは、色々なことにチャレンジすることや、日々の勉強をしつかりとりくむことだと思います。百七十五ページもある本を自分の力だけでさいごまで読むことができたのは初めてでした。何度でも読みたいと思わせてくれるきょう味深い本でした。